



会社に入社して、 一番やりがいを感じたことは？

先輩インタビュー

お子さんがアンパンマンの世界を 楽しんでくれることが一番の幸せです

アンパンマンが好きだったのはもちろん、幼少期からダンスをやっていたため、エンタメに関わる仕事がしたいと思いアルバイトから入社しました。最初の数年は演者としてステージに立っていましたが、2年ほど前に社員になってからは演出に回り、今回初めてクリスマスのステージをメインで担当しました。演者の時とは見える景色が異なり、お子さんや親御さんの立場になって考えることができるようになった点に自分の成長を感じています。まさか制作を担当することになろうとは驚きですが、自分自身の新たな可能性を発見でき、日々充実しています。



お子さんの笑顔に癒されています！



profile
【名前】熱海 光 【在籍年数】7年
【所属】ミュージアム エンターテインメント

1 アンパンマンの世界を再現した体験型施設『仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール』。2 ばいきんまんをテーマにした遊びの空間「バイキンひみつ基地」を全国に先駆けてオープン。3 アクティブに遊べる「SLマンひろば」。4 2018年、仙台駅東口からの道なりにアンパンマンや仲間たちの石像を配した「アンパンマンストリート」が完成。施設内だけではなく地域連携にも取り組む。5 赤ちゃんものびのび遊べる「あかちゃんまんテラス」。「SLマンひろば」と共に年齢に応じた遊びが楽しめる仙台独自のエリア。6 エントランスでお客様をお迎えするスタッフ。お客様へのご案内や館内巡回、子どもたちが楽しく安全に遊べるようにサポートすることも大切なお仕事。

会社情報

■設立 2009年7月15日
■代表 関根 崇史
■資本金 5,000万円
■従業員数 336人

仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール
〒983-0817
仙台市宮城野区小田原山本丁101-14
TEL/022-298-8855
https://www.sendai-anpanman.jp/

©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

求人情報

■福利厚生 社会保険完備(法定基準による)、産前・産後・育児・介護休暇制度、慶弔見舞金制度、昇給制度、従業員割引
■休日休暇 週休2日制(シフト勤務制)、有給休暇
■職種 ミュージアム運営業務(接客、キャラクターキャスト、ほか)
■インターンシップ受け入れ/なし ■大学生アルバイト受け入れ/あり
■採用担当者連絡先/TEL022-298-8855
✉saiyo@sendai-anpanman.jp

■CORPORATE RESEARCH 採用ページはコチラから

会社案内請求
 自社説明会
 会社見学

■採用までの流れ

- 書類選考
- 一次面接
- 二次面接
- 内定通知



マイナビ リクナビ

エーシーエム 株式会社ACM

仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール 運営

file10

東北で唯一「アンパンマン」を テーマに“体験”を提供

アンパンマンビジネスの最前線を担う施設を運営
『ACM』は、アニメ「それいけ!アンパンマン」に登場する「アンパンマン」に会いたいという子どもたちの願いから生まれた『アンパンマン子どもミュージアム』を運営する会社。『仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール』は2011年7月に開業し、12年目を迎えた。ミュージアムとショッピングモールで構成される同施設は、アニメのシーンを再現したジオラマ展示や多彩なイベントを通して体験を提供するだけでなく、ショーキャストの養成やアンパンマン商品開発等における関連会社の情報拠点として顧客との繋がりの場を提供するなど、東北で唯一となるアンパンマンのキャラクタービジネスの一翼を担っている。目指すのは、子どもたちの「楽しかったよ、また来るとね」という言葉。そのゴールは開業当初から変わらない。**子どもたちを笑顔にする上質な空間を目指して**

アルバイトからの社員登用や中途採用など、入社方法は

さまざまだが、業務内容も多岐にわたる。ミュージアム内で直接来館者に携わる仕事だけでなく、施設管理、店舗管理、広報、経理、総務、人事などを通し、来館者からは見えない部分でも施設を支えている。『仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール』のスタッフは大半が東北出身。キャラクタービジネスに携わるのは初めてという人でも、社内研修が充実しているのが安心してスタートできるのが魅力だ。全国に5館ある『アンパンマン子どもミュージアム』のスタッフと交流しながら考えを深められるのも、全国展開している施設ならではの強み。広報担当の木村 香織さんは、「いろいろな業務を経験でき、自分の可能性を広げられる職場です」と語る。アンパンマンの世界観が好きなのはもちろん、子どもたちがアンパンマンたちと触れ合う感動のシーンに立ち会い、喜びを感じられる人、愛と勇気あふれる人にこそぜひチャレンジしてほしい。